

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



「たい」のあふれる時津小



↑こちらからも↑

No.50

令和7年 3月21日（金） 発行人：校長 森内 秀学

旅立ち

いま、別れのとき 飛び立とう 未来信じて
弾む 若い力信じて このひろい このひろい 大空に【式歌「旅立ちの日に」より】



3月18日（月）、雨が降ったり止んだりする不安定な天候の中、第78回卒業証書授与式が終了しました。卒業生は、71名、全員出席でした。

多くの御来賓にもお越しいただいた当日の式は、厳粛な中にも温かさあふれるものでした。教室での別れの場面では、涙する子どもたちもたくさんいて、小学校生活が充実したものであったことを感じさせてくれました。

そんな思い出深い時津小学校から、校長も含め、以下の職員が、異動または退職することになりました。時津小での学びを礎に、それぞれの場所で活躍することを誓います！

動静	職名	氏名	異動先・職名
転出	校長	森内 秀学	長崎大学教育学部附属小学校・校長
	教諭	白濱 亮	南島原市立小林小学校・教頭
	教諭	山北 有紀	佐世保市立大野小学校・教諭
	教諭	中村 智子	西海市立西海東小学校・教諭
	養護教諭	村井 陽子	時津町立時津東小学校・養護教諭
退職	教諭	竹村 浩明	長崎純心大学・非常勤講師
	教諭	田添 啓三	

【校長からのごあいさつ】

コロナによって縛られていた規制のひもがほどけたことで、子どもたちや先生方の心が解放され、学校が明るく楽しくなっていくのを感じた2年間でした。

私は、指示を待って動く子どもではなく、やりたいことを自分で見つけ、どうすればよいか自分で判断し、自分の力と自分の責任で力強く歩んでいく、自立した子どもに育てるべきだと思っています。そしてそのすべての原動力は、意欲（～たい）。求める方向は、職員に対しても同じでした。



ですから、そうした考え方や成長の足跡を、この学校だよりでお知らせしてきました。どれくらいできたかは分かりませんが、少なくとも本校の職員は、子どものもつ力や成長を信じ、子どもに任せることのできる教員へと成長してきました。それに伴い、子どもたちも責任ある自己決定ができるようになってきました。次年度は、さらなる進化が期待できます。校長が代わっても、引き続き、温かいご支援とご協力を、よろしくお願ひします。